

## 取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に修正
- 生活に合わせて使えるマルチアラーム
- 温度・湿度をお知らせします
- 電池の交換時期をお知らせします

- お買い上げありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

### 発売元 リズム時計工業株式会社

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

## ご使用上のご注意 (ご使用前に必ずお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

### ■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

- 警告** この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- 禁止** この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- 強制** この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### ■誤飲による事故防止について

小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

### ■アルカリ電池について

- 電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

### ■液晶について

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

### ■電池について

- 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 新しい電池と古い電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- 電池はすべて指定の新しい電池をご使用ください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

## お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのごよれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について**  
この時計の修理用性能部品 (電子回路・歯車等) は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品 (ケース・文字板等) の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について**  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合**  
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お買い上げの製品に関するお問い合わせに際しては、製品番号 (型番) 「8RZ064」をお伝えください。

### お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00 ~ 17:00  
(土日、祝日および当社休日を除く)

(Y0704)

## 電波時計について

### 電波時計とは

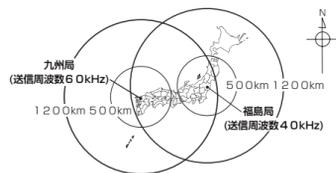
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。  
※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。  
標準電波送信所は、福島県の「福島局: おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局: はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。  
標準電波の詳細については、「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。  
(http://jiy.nict.go.jp)

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。  
※受信範囲内であっても、置き場所、時計の向き、地形や建物の影響などの環境条件によって受信できない場合があります。  
※電波障害により誤った時刻を表示することがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### ■使用場所について

下記のような場所では使わないでください。  
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下になる所。(性能が低下することがあります。)
- 浴室など湿度が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

### ■海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻合わせをしてお使いください。

### ■標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

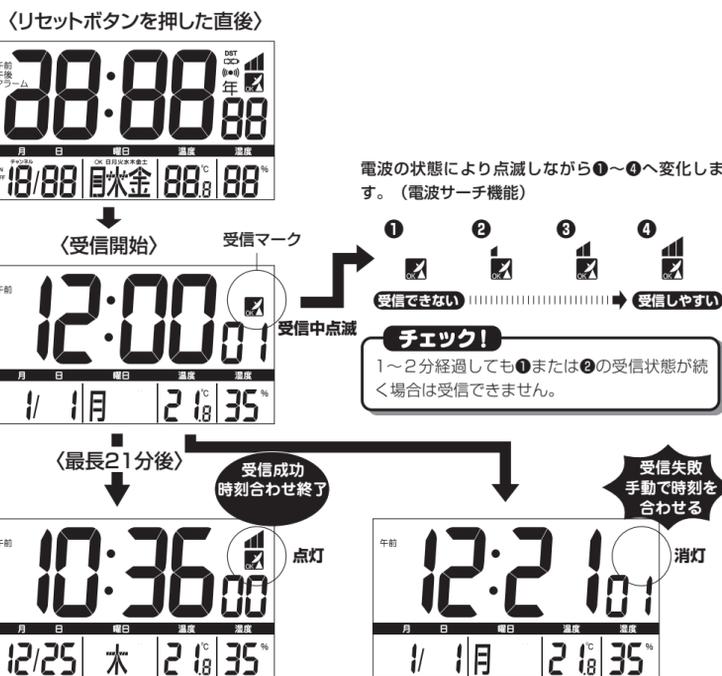
## 1. 時刻の合わせ方 (はじめてお使いになるとき)

図は操作説明用ですので、実際の商品とは異なることがあります。



時刻表示は午前/午後表示付の12時間制です。

### 【受信の流れと表示】



### アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。  
電池を入れ替えたときもリセットボタンを押し、窓際などで電波の受信をさせてください。  
※リセットボタンを押すとノーマル、マルチアラームの設定は失われます。

### 【手動で時刻を合わせるときに使用するボタン】



- 裏面の電池ふたを取り外す
- 電池を入れる  
図のように正しく入れてください。  
電池の向きを逆に入ると発熱、破裂の危険や液もれの原因になります。
- 電池ふたを取り付ける
- リセットボタンをボールペンの先などで押す「ピィ」と鳴って受信を開始します。  
標準電波の受信を開始しました。標準電波の受信には最長21分程度かかりますので、電波の受信しやすい窓際などにおいてください。
- 受信結果を確認する  
「受信の流れと表示」参照  
受信マークが点灯: 受信に成功  
「2. アラーム機能」へ進む  
受信マークが消灯: 受信に失敗  
「電波を受信できない場合」へ進む

## 電波を受信できない場合

- ◆朝までそのままにしておく  
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。1~2日様子を見てください。
- ◆場所を変える/受信をやり直す  
電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所 (取扱説明書の日本地図を参考) に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押してください。
- ◆手動で時刻を合わせて使用する  
電波を受信できない場所でご使用になるときは、手動で時刻合わせをしてください。手動で時刻合わせをすると時間精度はクオーツ精度になります。手動で時刻を合わせて使用するときは、誤受信を防止するために電波受信機能を「OFF」にして使用することをお勧めします。

### ●手動での時刻の合わせ方

- 下の操作例を参考に、カレンダーおよび時刻を合わせてください。
- 戻るまたは進むボタンを押してすぐ離すと1つ単位で戻ったり進んだりします。
- 戻るまたは進むボタンを押し続けると速く数値が変わります。

操作例 西暦2008年12月25日 午前10時36分に合わせる



- ◆曜日は自動的に設定されます。
- ◆電波受信機能が「ON」のときは、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻カレンダーを修正します。
- ◆約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている日付・時刻を設定して時刻表示になります。

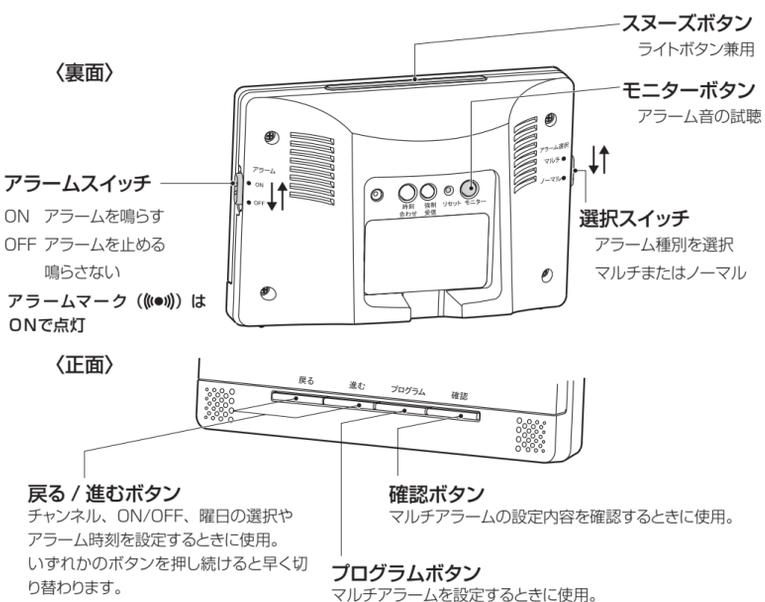
## 2. アラーム機能

用途に合わせてアラームを使い分けてください。

**ノーマルアラーム**…… 曜日に関係なく設定時刻にアラームを鳴らす  
1日1回決まった時刻にアラームを鳴らしたいときにご使用ください。

**マルチアラーム**…… 曜日と時刻を組み合わせてアラームを鳴らす  
一日に何度かアラームを鳴らしたい、曜日によりアラーム時刻を変えたいときなどにご使用ください。

曜日とアラーム時刻の組み合わせを1チャンネルとして12チャンネル使用できます。  
◇アラーム機能は、表示している時刻・カレンダーが正しいことを確認してからご使用ください。



## マルチアラームの使い方

- **マルチアラームを設定または鳴らすときには、選択スイッチを「マルチ」にします。**
  - **設定に従いアラームを鳴らすときには、アラームスイッチを ON にします。**
- 各チャンネルに設定した条件でアラームを鳴らすには、チャンネルアラーム ON/OFF 設定を ON にする必要があります。使わないチャンネルは OFF に設定します。



チャンネル1のアラームがONで、月曜日から水曜日までの午前6時20分にアラームが鳴るように設定されています。



チャンネル2のアラームがONで、木曜日と金曜日の午前8時00分にアラームが鳴るように設定されています。

## マルチアラーム (時刻および対象曜日) の設定手順

設定する前に、マルチアラームの設定表を作成すると作業がしやすくなります。

設定の流れ	操作
<b>1 設定モードにする</b> 	<b>1 選択スイッチ</b> を「マルチ」にする <b>2 プログラムボタン</b> を約2秒間押し続ける → チャンネルが点滅する
<b>2 チャンネル選択</b> 	<b>1 戻るまたは進むボタン</b> を押して設定するチャンネルを選択する ボタンを押し続けると速く変わります。 <b>2 プログラムボタン</b> を押して確定する → ONまたはOFFが点滅
<b>3 ON/OFF設定</b>  このチャンネルを ON: 使用する OFF: 使用しない	<b>1 戻るまたは進むボタン</b> を押してONまたはOFFを選択する <b>2 プログラムボタン</b> を押して確定する → アラーム時刻の「時」点滅 ※OFFにすると、このチャンネル設定のアラームは鳴りません。
<b>4 アラーム時刻設定</b>  時 分 午前 アラーム 8:00	<b>1 戻るまたは進むボタン</b> を押して「時」を合わせる <b>2 プログラムボタン</b> を押して確定する → アラーム時刻の「分」点滅 <b>3 戻るまたは進むボタン</b> を押して「分」を合わせる <b>4 プログラムボタン</b> を押して確定する → 「OK」マーク点滅 ※午前 / 午後の表示に注意してください。
<b>5 対象曜日選択</b> アラームを使用する曜日を表示 (消灯している曜日は鳴らない)  OK 曜日選択を終えるときに選ぶ 設定対象の曜日を大きく表示 OK マーク 曜日選択を終えるときに選ぶ	<b>1 戻るまたは進むボタン</b> を押して設定する曜日を選択する → OK に設定する曜日が大きく表示されます <b>2 プログラムボタン</b> を押す 押すたびに A の曜日が [ 消灯 → 点滅 ] / [ 点滅 → 消灯 ] ▶ A の曜日が点滅または点灯している曜日にアラームが鳴る。 <b>3 曜日の設定を続けるときには1へ</b> <b>4 終了するときには戻るまたは進むボタン</b> を押して、「OK」を選択してから <b>プログラムボタン</b> を押してください → 現在時刻表示に戻る

- 複数のチャンネルを設定するときは、上記の手順を繰り返してください。
- 設定中に**選択スイッチ**を「ノーマル」にすると、設定を保存して終了します。
  - 操作を約30秒中断すると設定を保存して終了します。
  - アラームが鳴っているときやスヌーズ状態のときは、マルチアラームの設定ができません。

## マルチアラーム設定表の例

記入例 早番と遅番によりアラーム時刻を変える場合

チャンネル1と2を使い、時刻と曜日を設定し、このチャンネルをONにしておくと、曜日により自動的にアラーム時刻を切り替えることができます。  
上記の例は、曜日ごとに設定しましたが、1日に複数回アラームを鳴らすことができます。

チャンネル	アラーム時刻	アラームを鳴らす曜日							覚え書き
		日	月	火	水	木	金	土	
例 1	6:20		○	○	○				早番
例 2	8:00					○	○		遅番
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									

## マルチアラーム設定内容の確認方法

- 選択スイッチ**を「マルチ」にして、**確認ボタン**を押してください。設定内容が約5秒間表示されます。表示している間に、**戻るまたは進むボタン**を押すとチャンネルが変わります。
- 内容が表示されているときに**プログラムボタン**を約3秒間押し続けるとマルチアラーム設定に変わり、内容を変更することができます。
  - 電波を受信しているときやアラーム状態のときは、**確認ボタン**は使えません。

## ノーマルアラームの使い方

- **ノーマルアラームを設定または鳴らすときには、選択スイッチを「ノーマル」にします。**
- **設定に従いアラームを鳴らすときには、アラームスイッチを ON にします。**

## ノーマルアラーム時刻の設定手順

設定の流れ	操作
<b>1 設定モードにする</b>  午前 アラーム 6:00	<b>1 選択スイッチ</b> を「ノーマル」にする <b>2 戻るまたは進むボタン</b> を押してすぐ離す → アラーム時刻が点滅する
<b>2 アラーム時刻設定</b>  午前 アラーム 6:30	<b>1 戻るまたは進むボタン</b> を押して時刻を合わせる ボタンを押し続けると速く変わります。 <b>2 ボタン操作を約5秒間しない</b> → 設定を終了して現在時刻を表示。

- アラーム時刻はマルチアラームの時刻設定と異なり、時・分を分けて設定しません。
- 約5秒間ボタン操作をしないと現在時刻の表示に戻ります。
- アラーム時刻を確認するときは、「1 設定モードにする」を行なってください。

## 共通操作

### アラーム音の確認方法

アラームスイッチをONにして、裏面のモニターボタンを押すとアラームが鳴り出します。止めるには、アラームスイッチをOFFにするか、モニターボタンを押してください。

### 鳴っているアラームを止める

#### アラームスイッチをOFFにする…… アラーム機能停止

アラーム音が停止し、アラームマーク (☀️) が消灯します。

#### アラームオートストップ機能…… 約2分間放置すると自動停止

アラームは約2分間鳴りつづけた後、自動的に終了します。  
アラームスイッチはONのままです。

#### スヌーズ機能…… 一時的にアラーム音を止める

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク (☀️) が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク (☀️) は点灯表示になります。アラームスイッチはONのままです。

## 設定内容の消失について

つぎのようなときは、設定した内容が失われますので、事前に設定した内容をメモしておき、再度設定してください。

- 電池が切れた
- 電池を交換した
- リセットボタンを押した
- 静電気により誤作動した

## 3. 電池交換時期のお知らせ

電池の交換時期になると、 マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

## 電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具などに損傷を与えます。表示が薄くなったり、時計が止まったら電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

## 4. 表示部照明機能

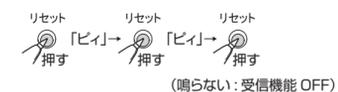
スヌーズボタンを押すと、約3秒間表示部を照明します。液晶の特性により、下方からは見えないことがありますので正面または上方より読み取ってください。

## 5. 電波受信のON/OFF設定

標準電波受信機能をON/OFFを設定することができます。  
工場出荷時の受信機能の設定はONです。

### OFFにするには (受信しない)

リセットボタンを約1秒間隔で3回押します。▶ **手で時刻を合わせてください。**



- ※押すタイミングにより、切り替わらないことがあります。このようなときは、操作を繰り返してください。
- ※電波受信のON/OFF操作をしたときは、アラーム時刻を再度設定してください。

### ONにするには (受信する)

戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押してすぐに離し、その後戻るボタンを離すと受信を開始します。

## 6. 強制受信とリセット操作

- 強制受信は、場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。
- 強制受信は、手で時刻合わせをしているとき、アラーム時刻を合わせているとき、アラーム状態のときはできません。
- リセットボタンは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00、すべてのアラーム時刻は午前6:00に初期化されます。また、マルチアラームのすべてのチャンネルはOFFになります。

## 7. 温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。  
湿度は温度範囲が5~50℃のときに±10%の誤差範囲で表示します。

測定範囲を超えたときの温度表示 測定範囲を超えたときの湿度表示

HH.H 50℃より高温 HH 95%より高い  
LL.L -9.9℃より低温 LL 20%より低い

湿度は温度が5℃未満または50℃を超えると「-」表示になります。

※本製品は室内用ですので、室内の温度・湿度の計測以外の目的では使用できません。  
また厳密な温湿度管理を行う用途には適していません。

## 8. 静電気による誤作動

静電気の影響により誤作動し、正常に表示しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。アラーム時刻などは再度設定してください。

## おもな製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒以内 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10~+50℃ (液晶表示温度範囲0~+40℃)
使用電池	単3形マンガン乾電池(JIS規格 R6P) 2個
電池寿命	約1年間(アラーム、照明の使用状態により変動します)
その他	標準電波 標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 標準電波受信 ON/OFF切替 カレンダー 2007~2099年 西暦、月日、曜日 時刻表示 12時間制 アラーム機能 アラーム精度 表示時刻に対して±0秒 アラーム音 電子音(鳴り方が変化) アラーム時刻 ノーマル、マルチ(12チャンネル) 温度 -9.9~+50℃ ±2℃ 湿度 20~95% ±10% (湿度が5~50℃のとき) 電池の交換時期お知らせ機能 表示部照明機能 スヌーズボタンを押すと約3秒間照明

- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。
- 0~40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

- この時計はマンガン電池の特性に合わせて設計されていますので、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、表示が正常にされない、電池の寿命が短くなるなどの障害が発生する原因になります。